都市再生整備計画 フォローアップ報告書 大石田拠点形成地区

令和2年 5月 山形県大石田町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			~~ t	目標値	事後評価			フォローアップ・に	=1 :84 n± #0	フォローアップ [°] 時 点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等			
		単位	従前値	日保胆	評価値	見込み・確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	計測時期	度	理由	改善策の方向性	総合所見
指標1	公共施設の住民満足 度	%	15	53	57	確定 見込み	. 0	あり なし					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	継続して利用しやすい環境を整備 し、利用率の向上に努める。
指標2	地区内の年間公園利 用者数	人/年	1,000	1,500	1,250	確定 見込み	. Δ	あり なし	1,275	R2年5月	Δ		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	環境が整備されたことにより通年を 通じて見込値より利用者が若干増 加した。
指標3	中心市街地の観光入 込客数	人/年	186,400	192,000	167,900	確定 見込み	- Δ	あり なし	176,700	R2年5月	Δ		□ 改善策に補強が必要	拠点整備・情報発信・周遊連携等により観光客数の下落を是正することができた。
	(1	·	()	1

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

単位 評価値 見込み・確定の別 達成度 1年以内の 達成見込み よる確定値 度 理由 改善策の方向性 その他の数値指標1 町民交流センター利 別 日本数 人/年 13,972 H28 確定 見込み 48,860 H 年 月 日本数 日本数 本の他の数値指標2 その他の数値指標2 財産 日本数 日本数<	指 標			- 従前値	目標値	事後評価			フォローアップ(こ	=1.294 n± #0	フォローアップ [°] 時 点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
その他の数値指標2 H 48,860 H 年月 □ 改善策に補強が必要 の お表には強強が必要 の お表には強強が必要 の なる。 日本の地の数値指標2 日本の地の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値指標2 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数を表される。 日本の世の数値を表される。 日本の世の数値を表される			i			評価値	見込み・確定(別	で 達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	計測時期		理由	改善策の方向性	₩6 D 171 1元
数値指標2 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	その他の数値指標1	町民交流センター利 用者数	人/年	13,972		H28	<u>-</u>			48,860	H 年月			□ 改善策に補強が必要	継続して利用しやすい環境整備や ベントを企画し、利用率の向上に努 める。
その他の ロ 改善策はそのまま	その他の数値指標2										H 年月			□ 改善策に補強が必要	
数値指標3	その他の数値指標3										H 年月			□ 改善策に補強が必要	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

Y ※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4一③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

	ト 添付様式5一③に記載した)まちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
		自主企画事業の展開 施設内の利用方法改善		継続して利用者のニーズを把握し、より参加しやすい事業の展開、利用環境の整備を徹底する。	
・成果を持続させるために 行う方策	イベントの充実と情報発信	イベント内容の充実 観光ホームページやSNSでの情報発信の徹底	参加者の増加	町民団体への更なる支援が必要である。	
	観光ホームページのニーズに合わせた充実とメンテナ ンス	東北芸術工科大学と連携した観光ホームページでの情報発信	新たな目線での内容で更新を行った。	掲載内容の掘り起こし	
改善策		イベント後のアンケート調査 町民によるイベントの開催支援	ニーズを把握でき、より町民が集まりやすいイベント を開催することができた。	継続してニーズを把握し、集まりやすいイベントを検討する。	
・残された課題・新たな課題への	観光交流人口の増加	観光ホームページやSNS等での情報	観光施設等の客数下落を是正することができた。	継続的な集客向上支援が必要である。	
対応策・その他 必要な改善策					

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4一④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項